

町内公共施設の杭打ち工事について

データの流用は確認できず、適正な施行管理がなされたものと確信



くまだ ひろし 議員
熊田 宏

街灯設置の要望状況と今後の計画

熊田 町民の方からの街灯設置の要望や問合せを頂くことが多くなっている。

より多くの街灯設置により犯罪の抑止力とし防犯に務め、安全で安心出来るまちづくりをすべきであると思う。

現在の要望状況並びに今後の設置計画についてどうなっているのか。

ふるさと納税の目標額、今後の計画

熊田 本町のふるさと納税制度のシステム変更以来寄付額が増加しているが、現在の寄付額、目標額、今後の計画について伺う。

寄付金の魅力的な用途を検討することとホームページの変更を実施し、より多くの寄付金を頂き、町内産品の購買増加と来町・移住の契機としてはどうか。

町長 国土交通省や他の自治体が過去10年間を対象に調査を行っていることを踏まえ、まずは10年以内に整備した公共施設等について調査を行います。対象となる施設は、教育委員会部局の平成21年度から平成25年度に整

熊田 横浜のマンションの杭打ち工事が報道され、工事の不正なデータ流用が問題となっている。当町で過去に建設された公共施設において、同様の事実が無いか調査したか。

備した矢吹中学校改築工事と、平成26年度に整備した屋内外運動場整備工事です。町部局は過去10年間で杭打ちした公共施設はありませんが、直近でいいますと平成12年度から平成14年度にかけて町営小池住宅1号棟と2号棟を整備しております。これらの施設は、いずれも工事関係書類等により施工状況を調査した結果、データの流用は確認できず、適正な施工管理がなされたものと確信しております。

町長 街路灯の設置要望について現在年間約15件程度の新規設置が要望されております。要望箇所につきましては、速やかに現地調査を行い設置基準に基づき対応が必要な箇所につきましては要望後できるだけ早期に設置しております。しかし、設置基準を満たさない箇



街路灯LED化

所、設置が困難な箇所につきましては、要望時または現地確認後、設置が出来ない、難しい旨を要望者に回答しております。今後の設置計画であります。近年LED照明機器の低価格化により、昨年度後半より新設については全てLED照明を採用しております。街路灯は防犯の観点からも防犯灯としての機能も有しております。特に、通学路の街路灯につきましては、LED化の推進も含め適切な維持管理に努めてまいります。

町長 本年度の寄附金目標額につきましては、1,000万円を目標としており、残り4カ月となりますがその達成に向けPRの強化とともに魅力ある

謝礼品の開発と寄附者が共感できる使い道の検討を継続的に行ってまいりたいと考えております。また、本町への寄附者については北は北海道から南は沖縄県まで全国各地から寄附をいただいております。今回ふるさと納税を通じて矢吹町を知っていただき来ていただき、住んでいただけるまさしく地方創生の起爆剤となりうるよう謝礼品の開発や特典等の検討を含め、寄附金による財源の確保だけでなく流入定住人口の増加に向けた新たな仕組みづくりの検討を深めてまいりたいと考えております。